

【茶】の【強風・大雨】対策について

<4～6月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

(1) 予想される被害状況

- ・ 強風に伴う葉ずれによる品質低下。
- ・ 幼木園におけるマルチのばたつきによる落葉。
- ・ 茶園の冠水による樹勢低下。
- ・ 製茶工場の損壊。

(2) 事前対策

- ・ 直掛けにより摘採前被覆を実施している茶園では、強風による葉ずれを防止するため、一端被覆資材を除去し、強風が収まってから再度被覆する。
- ・ 1～2年生の幼木園では、防風ネットを設置する。また、株元やマルチ資材への土寄せにより、茶株の揺れやマルチのばたつきを防止する。
- ・ ほ場への降雨が速やかに排出されるように茶園内の排水対策を徹底する。
- ・ 製茶工場（煙突、屋根、雨とい、窓等）の点検・整備・補強を行う。

(3) 事後対策

- ・ 葉ずれを起こした部分を除いて摘採する。
- ・ 幼木の落葉が激しい場合には液肥等を施用し樹勢回復に努める。
- ・ マルチの補修を行う。
- ・ 強風により葉の損傷を受けた茶園では殺菌剤を散布する。
- ・ 冠水・浸食部分の速やかな排水処理と改修を行う。